

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



『大崎G G同好会が全国大会3位』

9月3～5日に、第17回全国グラウンドゴルフ交歓大会が宮崎県で開催され、鹿児島県代表として出場した『大崎G G同好会2組』が、団体の部において第3位という優秀な成績を収められました。

大崎G G同好会2組は県予選会で、220チームのなかで、227打で優勝。全国大会では、222チームの参加があり、優勝は長崎県代表226打、2位は静岡県代表237打、3位が鹿児島県代表（大崎G G同好会2組）240打という成績でした。

穂園春雄さんは「県の代表として、たいへんなプレッシャーを感じました。入賞を目指して、2か月間の強化練習にも励みました。3位に入賞できたのも選手のみなさんががんばった成果の現れです。」と話してくださいました。

また、穂園春雄さんは、個人の部においても3位に入賞されました。

おめでとうございます。

写真奥左から 穂園秋雄さん・新越皐月さん・新川広昭さん

写真手前左から 高野アヤさん・有馬弘子さん・穂園春雄さん



『下水道の日キャンペーン』

9月10日、この日は『下水道の日』ということで、大崎町下水道連絡協議会の会員（27社）の方々が益丸にある大崎クリーンセンターで施設の研修・見学を行いました。

その後、下水道事業に対する協力と理解を深めてもらうことを目的に、参加者は役場の関係職員と同行し、未接続者への戸別訪問を、5班に分かれて行い、チラシを配布しました。在宅者には、キャンペーンで訪問した旨を伝え、接続に対する理解を求めました。

大崎町における供用開始区域内での下水道への接続率は、現在、約9割となっており、約800世帯が公共下水道を利用しています。

『いつまでもお元気で！』

9月20日の敬老の日、迫郷集落の壮青年部（竹原静史部長部員19名）では、今まで集落を支えてきた年配の方々への恩返しも兼ねて、22名の高齢者宅を訪問し、記念品を贈りました。

集落内でも高齢化は進んでいますが、訪問し元気な笑顔の高齢者の方に接した部員の方は「普段、周囲の人と接する機会の少ない高齢者宅を訪問し、世間話をするだけでも、元気が出る様子。来年もぜひ実施したい。」と話されていました。

